

第128回不正対策研究部会	
開催	平成29年2月17日（金）午後1時～午後3時 PCSA会議室にて
出席人数	正部員10名、日遊協参加者1名、メーカー参加者1名、合計12名
出席者リスト	リーダー
	松本 浩 株式会社ヒカリシステム
	サブリーダー
	市川 忍 株式会社ダイナム
	正部員
	倉沢 隆志 株式会社ニラク
	松尾 武 夢コーポレーション株式会社
	梅野 唯行 株式会社合田観光商事
	上野 誠 株式会社ヒカリシステム
	渡邊 雅也 株式会社アメニティーズ（アメニティーズ）
	柏 信吾 株式会社バンドラ（アメニティーズ）
	徳永 正宣 株式会社チアエンタープライズ
	山本 譲 株式会社三永
	一般社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協）参加者
	1名 株式会社アプリイ
	遊技機メーカー 参加者
大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント	
討議事項	1) 日本遊技機工業組合 訪問 報告
	部員からアンケートを取った「セキュリティエラー報知について」のまとめを 伝えた。また、前回訪問7月以降8月から2月までのゴト被害をまとめて出した ところ磁石ゴトの被害がない事に驚かれていた。（※事務局注 ゴト被害は1社 のみのまとめでゴト種類に偏りがある。）また、今後はスロット担当者も同席 するという事になった。アウトのカウントセンサー、役比モニターに についても説明された。
	2) ゴト被害アンケート1月について
	アンケート回答8社。電波波、クレマンゴト、持ち込み、釘曲げゴトなどで 被害件数80件、被害額¥965,938-、警察への通報回数が6件、 被害届申請が5件、被害届受理が1件となっている。1月は持ち込みが多く発生 また原因不明の誤差玉への対応策等の情報を共有した。
	3) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告
	株式会社ユニバーサルエンターテインメントの大庭義樹室長より、部品交換した サブ制御基板の全国のホールでの目視点検進捗が報告された。また、認定で 注意するポイントや、ホッパーの取扱いについて説明がされた。
	次回開催
	不正対策研究部会
	平成29年3月17日（金）
	午後1時～3時
	PCSA会議室にて